平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標	2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標	2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに
重点的取組	1 幹線道路の渋滞を解消する

担当課名			建設部　施設整備課
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	04	都市計画費
	目	03	街路費

事業名	街路深江林ヶ原線整備事業	事業開始年度	平成　19　年度
	都市計画道路の整備促進（街路深江林ヶ原線整備事業）	根拠法令 条例 個別計画 等	道路法 都市計画法

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の（何の）ために	【目指す姿・意図】（いつまでに、どういう状態に）
	周辺地区の市民 街路利用者 など	大野地域の市街地を東西に横断する主要な道路である当該路線を平成27年度を目標に整備することにより、交通の円滑化、利用者の利便性、安全性の向上を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所（職員）の役割	関係団体（パートナー）	関係団体（パートナー）の役割
市	・用地買収に係る折衝 ・測量設計調査業務及び工事監督業務	―	―

3 平成 27 年度 予算 （事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

○街路深江林ヶ原線の整備

街路深江林ヶ原線は大野地域の市街地を東西に横断する主要な道路である。このうち、交通混雑が激しい大野インターチェンジ南交差点から西側の３２６ｍ区間を整備し、狭い地区内生活道路へ流入する通過交通の排除、信号待ちによる渋滞の解消、地区内生活道路の安全性の向上、変則交差点の改善を図る。
整備延長は、３２６ｍ（内橋梁部２３ｍ）
幅員は、車道７ｍその片側に２．５ｍの歩道を有する９．５ｍ。
平成２２年７月事業認可を取得し用地取得に着手した。
平成２７年度は、橋りょう下部工事と引き続き用地取得を進める。

○事業費関連

【歳入】

社会資本整備総合交付金（道路）	40,700 千円
街路整備事業債（合併特例債）	41,200 千円
公共施設等整備基金繰入金	2,000 千円

【歳出】

不動産鑑定評価手数料等	91 千円
補償金再算定等業務委託料	1,500 千円
道路整備工事	22,000 千円
用地購入費	12,000 千円
物件等補償費	49,000 千円
事務費（消耗品費）	109 千円

コスト情報（円）

項目			平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
直接事業費 A			51,405,976	126,200,000	84,700,000	
財源内訳	国庫支出金		21,582,000	59,400,000	40,700,000	
	県支出金					
	借入金（市債）		27,300,000	60,200,000	41,200,000	
	その他（使用料など）			6,000,000	2,000,000	
	市（市税など）		2,523,976	600,000	800,000	
人件費（按分）B			0.61 人 5,176,460	0.61 人 5,191,710	1.05 人 9,081,450	
総事業費（A+B）			56,582,436	131,391,710	93,781,450	
単位コスト換算	①	人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
		市民1人当たり	481	1,117	800	
	②					

目標到達度

活動及び成果指標		単位	H25 実績値	H26 目標値	H27 目標値	備考
活動	用地取得の進捗率	%	66	100	100	取得した面積/全体面積
成果	利便性・安全性の向上	%	H28年度 完成目標（供用開始） 100%			